

第59回 大阪大学野田村サテライトセミナー

23年間の災害ボランティア

に関わってきた学んだこと

(仮題)

参加
無料

1月11日(木)

18:30~20:00

場所: 大阪大学野田村サテライト



RESPECT

阪神・淡路大震災で仕事場が被害を受け、以後知人の保育園が行ったボランティア活動に加わったことがきっかけで、災害ボランティア 23 年となりました。阪神・淡路大震災では「ボランティア元年」と言われたのですが、私は未だ「あの時、何故ボランティア元年」と言われてきたのか、答えが見つかりません。この疑問からいろいろな災害ボランティアに関する資料や文献に出会い、答えは見つかりませんが、おかげで「災害ボランティア」について、より多様な角度から向き合うことができ、いま、やっと災害ボランティアの意義のようなものが少し見えてきました。

また、私は阪神・淡路大震災直前まで 15 年間ほど神戸市長田区のケミカルシューズ業界で働いて参り、直前の 2 年 11 ヶ月はオーダーの靴づくりのための「靴道場」という工房を主宰していました。その時に深く関心を持った『人の足』(近藤四郎著 岩波新書) から、人類進化の歴史に魅力を感じるようになり、偶然にも、災害ボランティアとの関りから人として生きていくための大事なことと人類の進化と足のことの関連から、根底でつながっていることに気づきはじめてところです。楽しみにして下さいね!

プログラム

開会挨拶 渥美公秀 大阪大学大学院教授

18:30 23 年間の災害ボランティアに関わってきた学んだこと
講師: 村井雅清氏 (被災地 NGO 協働センター・顧問)

20:30 終了

講師紹介: 村井雅清 (むらいまさきよ) 氏

1950 年生。1969 年兵庫県立兵庫高校卒業、震災発生まで長田のケミカル業界に従事。震災後「阪神・淡路大震災『仮設』支援 NGO 連絡会」(現: 被災地 NGO 協働センター)の代表となる。「CODE 海外災害援助市民センター」理事、しみん基金 KOBE 副理事長など。神戸大学非常勤講師、関西学院大学非常勤講師、神戸学院大学客員教授他多数。2004 年第 2 回 21 世紀のまちづくり賞受賞、2011 年第 21 回ロドニー賞受賞

著書に「ボランティアが社会を変える」(共著、2006)、「災害ボランティアの心構え」(2011)「震災被災者と足湯ボランティア」(共編著、2015)

(注) 写真の一部は被災地 NGO 協働センター HP より転載

主催: 大阪大学未来共生イノベーター博士課程プログラム

共催: 大阪大学人間科学研究科附属 未来共創センター

後援: チーム北リアス、大阪大学野田村コミュニティ復興研究会

国立天文台震災復興データセンター

問い合わせ先

大阪大学野田村サテライト

住所: 野田村大字野田 22-114-49

TEL: 0194-75-4221

HP: <http://www.respect.osaka-u.ac.jp/satellite-nodamura/>